

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 海岸事業

事業コード(H21-建-継-08 )  
箇所名 (由利本荘市岩城 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	防護対象となる面積・人口 1kmあたりの防護面積・人口	10ha以上又は100人以上	15	15	
		7ha以上又は70人以上	10		
		5ha以上又は50人以上	5		
		その他	0		
	災害発生時の影響 浸水・侵食戸数	10戸/km以上	10	10	
		5~9戸/km以上	7		
		5戸/km未満	3		
	事業箇所の現状 波浪、浸食等に対する防護性	波浪、浸食の被害があるなど防護は劣っている	5	3	
		被害は見られないが防護は劣っている	3		
		優れている	0		
計		30	28		
緊急性	海岸整備の緊急性 過去の被害実績	過去に2回以上の被害実績がある	5	5	
		過去に1回の被害実績がある	3		
		記録された被害実績はない	0		
	侵食の速度	1.0m/年以上	10	10	
		0.5m/年以上1.0m/年未満	7		
	生命財産の危険性	0.5m/年未満	3	3	
		背後地住民の生命財産に関わる被害が想定される	5		
越波による冠水や砂浜侵食の被害が想定される		3			
計	生命財産の危険性は想定されない	0	20	18	
有効性	上位計画への貢献度 あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5	
		施策目標に間接的に貢献する	3		
		施策目標とは別にその他関連事業である	1		
	海岸整備に伴う有効性 災害の防止効果	越波災害防止効果が発現する	5	5	
		災害防止効果は現状と変わらない	0		
	侵食防止の効果	砂浜侵食防止効果が発現する	5	5	
侵食防止効果は現状と変わらない		0			
計		15	15		
効率性	事業の投資効果 費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	
		1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減 該当項目数	3項目以上	5	1	
		2項目	3		
		1項目 無し	1 0		
	当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	減少又は10%未満の増加	5	5	
10%以上30%未満の増加		3			
30%以上の増加		0			
計		15	11		
熟度	環境との調和への配慮状況 環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5	
		配慮が不十分で検討している	3		
		特に配慮はない	0		
	地元との合意形成の状況 地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
		意向が一部で強いがまだ要件の同意を得ていない	1		
事業の進捗状況 進捗率	計画より進捗している	10	5		
	概ね進捗(90~100%未満)	5			
	計画より遅れている(90%未満)	3			
計		20	15		
合計			100	87	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 海岸事業

事業コード(H18-建-再-05 )  
箇所名 (由利本荘市岩城 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	防護対象となる面積・人口 1kmあたりの防護面積・人口	10ha以上又は100人以上	15	15	
		7ha以上又は70人以上	10		
		5ha以上又は50人以上	5		
		その他	0		
	災害発生時の影響 浸水・侵食戸数	10戸/km以上	10	10	
		5～9戸/km以上	7		
		5戸/km未満	3		
	事業箇所の現状 波浪、浸食等に対する防護性	波浪、浸食の被害があるなど防護は劣っている	5	3	
		被害は見られないが防護は劣っている	3		
		優れている	0		
計		30	28		
緊急性	海岸整備の緊急性 過去の被害実績	過去に2回以上の被害実績がある	5	5	
		過去に1回の被害実績がある	3		
		記録された被害実績はない	0		
	侵食の速度	1.0m/年以上	10	10	
		0.5m/年以上1.0m/年未満	7		
	生命財産の危険性	0.5m/年未満	3	3	
		背後地住民の生命財産に関わる被害が想定される	5		
越波による冠水や砂浜侵食の被害が想定される		3			
計	生命財産の危険性は想定されない	0	20	18	
有効性	上位計画への貢献度 あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5	
		施策目標に間接的に貢献する	3		
		施策目標とは別にその他関連事業である	1		
	海岸整備に伴う有効性 災害の防止効果	越波災害防止効果が発現する	5	5	
		災害防止効果は現状と変わらない	0		
侵食防止の効果	砂浜侵食防止効果が発現する	5	5		
	侵食防止効果は現状と変わらない	0			
	計				15
効率性	事業の投資効果 費用便益比(B/C)	2.0以上	5	3	
		1.0以上～2.0未満	3		
		1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減 該当項目数	3項目以上	5	1	
		2項目	3		
		1項目	1		
	当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	無し	0	5	5
減少又は10%未満の増加		5			
10%以上30%未満の増加		3			
計	30%以上の増加	0	15	9	
熱度	環境との調和への配慮状況 環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5	
		配慮が不十分で検討している	3		
		特に配慮はない	0		
	地元との合意形成の状況 地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
		意向が一部で強いがまだ要件の同意を得ていない	1		
事業の進捗状況 進捗率	計画より進捗している	10	5		
	概ね進捗(90～100%未満)	5			
	計画より遅れている(90%未満)	3			
計		20	15		
合計			100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		